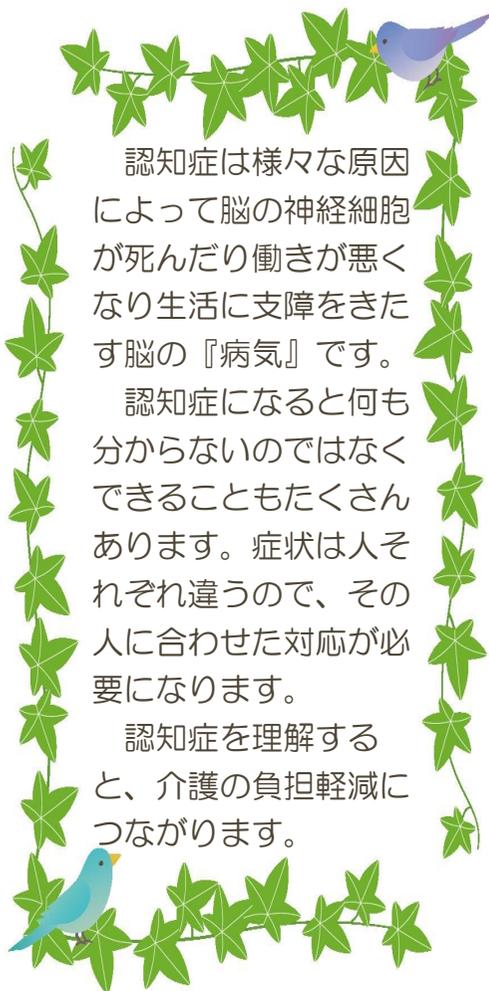


認知症ってどんな病気？



認知症は様々な原因によって脳の神経細胞が死んだり働きが悪くなり生活に支障をきたす脳の『病気』です。

認知症になると何も分からないのではなく、できることもたくさんあります。症状は人それぞれ違うので、その人に合わせた対応が必要になります。

認知症を理解すると、介護の負担軽減につながります。

ぜひこのパンフレットを参考に見て下さい



もの忘れ看護相談外来 開設のお知らせ

当院では、日頃の暮らしの中で認知症や認知機能低下によって、生活のしづらさがある方やご家族のお悩みを一緒に考え、解決のお手伝いをするため、もの忘れ看護相談外来を開設しました。

担当者

第1・3木曜日 13:00~16:00	坂本真一郎認知症 看護認定看護師
第2・4木曜日 13:00~16:00	北原こゆき認知症 看護認定看護師

☆気軽にご相談ください

独立行政法人
国立病院機構菊池病院
住所：〒861-1116
熊本県合志市福原 208

☎096-248-2111

もの盗られ 妄想

～原因と対応について～



「もの盗られ妄想」ってなに？

自分で大事な物を置いたり、盗まれないように隠した場所を忘れて、盗られたと思い込むこと



本人は身近な人を疑い、近所の人や親戚に言うことがあります。身近で親身になって世話をしてくれる人を頼りにしているからこそわがままが言えると思っています。周りの人は、**認知症の病気で勘違いしている**ことを理解して下さい。

アルツハイマー型認知症の
特徴的な症状のひとつです

「もの盗られ妄想」がある時は どんな気持ち？

私がなくす ワケがない

- ①財布などの大事な物をなくしたり、盗まれないようにしたいと思っています。
- ②みづかりにくい場所に自分で隠し、その場所を忘れます
- ③「私がなくすわけがない」「私は被害者だ」と思っている
- ④いつもの場所にないことを「盗られた」と思いこみます
- ⑤探しているときに、そばにいる人を犯人だと疑います

どのように関わればいいのか？

本人の言い分を
しっかりと
聞くことが大切です

「大変ですね」と言い、なくなったいきさつを聞く。あわてず、騒がず一緒に探し協力者であることを分かってもらいます。

本人が自分でみつけれ
るように、誘導します。

独立行政法人国立病院機構 菊池病院

出典：熊谷頼佳

タイプ別対応でよくわかる認知症ケア